

【電子版】



2023年 第4号 2023年3月6日

発行：自交総連本部

〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201

tel. 03-3875-8071

fax. 03-3874-4997

メール info@jikosoren.jp

ホームページ→



協議運賃制度の創設について警鐘

3・2中央行動

請願行動、国会議員要請、省庁交渉を実施



3年ぶりに人を集めての中央行動を実施=2023.03.02 東京・霞が関

自交総連は3月2日、23春闘で自交労働者の労働条件改善をめざし、コロナ危機と物価高騰に立ち向かい、食える賃金の保障、変動運賃制度反対、運賃改定のノースライド獲得、白タク合法化阻止などを掲げて、3・2中央行動を実施しました。全体で約300人が参加しました。

10時30分から決起行動を開始。国土交通省前で庭和田中央執行委員長は主催者あいさつで、急浮上した鉄道・タクシーにおける協議運賃制度の創設「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律案」に警鐘を鳴らしました。タクシー業界は危機的状況にあるとし、規制緩和を推進する勢力に押されているのではタクシーは地方から先につぶれていってしまうと強調しました。続いて、全労連の清岡副議長、交運共闘の門田幹事、日本共産党の岩淵参院議員が連帯あいさつしました。

参加者一人ひとりが請願書を国交省の係官に手渡しする中、東京の堀井中執、静岡の市村中執、福岡の内田常執がそれぞれの地方の実情を交えながら力強い決意表明を行いました。3年ぶりにプラカードを掲げたシュプレヒコールを行った後、厚生労働省にも署名提出を行いました。

12時からは、日比谷野外音楽堂での全労連・国民春闘共闘主催の中央総決起集会に参加し、デモ行進を行いました。

自交総連の代表は、13時から「タクシー労働者に食える賃金を保障しろ！ 労働者の生活保障、地域公共交通維持を求める請願書」署名について協力を求める国会議員要請行動にとりくみました。

その後、中央行動で提出した個人請願書の内容について国交省・厚労省と交渉を行いました。（情報電子版5号に掲載）。

地方名	提出署名数	
	国交省	厚労省
北海道	30	30
東北	26	26
埼玉	202	202
千葉	25	25
東京	2608	2601
神奈川	215	215
山梨	12	17
静岡	60	60
富山	1	1
関西	380	371
山口	15	15
高知	4	4
福岡	25	25
大分	35	36
長崎	38	38
鹿児島	21	19
本部	3	3
合計	3700	3688

食える賃金署名 オンライン署名も開始

自交総連は3月1日、すでに昨年からは開始している「タクシー労働者に食える賃金を保障しろ！ 労働者の生活保障、地域公共交通維持を求める請願書」と同じ趣旨のオンライン署名を開始しました。スマホやパソコンから、以下のサイトにアクセスして、氏名とメールアドレスを入力すれば賛同できます。

<https://chng.it/ktRcrGkKBr>

又は、<https://www.change.org/地域公共交通の危機打開>

このオンライン署名は、Change.org（チェンジ・オーグ）のシステムを利用したもので、賛同するとメールアドレスに、拡散と寄付のお願いが届きます。寄付は任意ですが、ツイッター、フェイスブックなどで拡散をお願いします。



Change.org

【地域公共交通の危機打開 タクシー労働者に食える賃金の保障を！】働いていても生活ができないと、タクシー労働者の離職が止まりません！

国会議員要請

自交労働者のくらし改善への協力を

出席者 16人(埼玉1、東京6、神奈川3、静岡1、大阪1、福岡1、本部3)

要請先 衆議院議員22人(自民1、立憲9、共産10、れ新1、有志1)

参議院議員15人(立憲2、国民1、共産11、れ新1)



中執メンバーを中心に衆参の議員会館を訪問し、要請を行った

「タクシー労働者の生活保障と地域公共交通維持を求める要請」(陳情)行動国会議員要請では、15人で8班をつくり、各班4～5人の議員を訪問し、国土交通委員を中心に衆参37人の議員へ要請を行いました。

要請の趣旨は、①「タクシー労働者に食える賃金を保障しろ！労働者の生活保障、地域公共交通維持を求める請願書」への賛同、②国会での審議を通じて、タクシー労働者の生活保障と地域公共交通の維持が図られる政策実現への協力、③請願書を議院に提出する際の紹介議員になることへの承諾、というものに加え、緊急にタクシーにおける協議運賃制度の創設問題の説明も行いました。

自交総連は、5月の署名提出行動と合わせて、さらに国会議員へ協力を求めていくとくみを進めていきます。

以下のような報告が集まっています。

- ◎ 共産・志位和夫衆院議員(秘書)：応接間で話をきいてくれた。秘書が先日、国土交通委員会に関わっている関係で国交省からのレクを受けたと話し、レクでは鉄道がメインでタクシーの届出運賃の創設は問題があるという認識ではなかった。問題点を述べる中で、レクでもらった法律の内容を記した資料を提供してく

れた。まともな地域公共交通を守ることと自交労働者のくらしを改善することに対して、今後とも協力していくことを確認した。

- ◎ **立憲・小宮山泰子衆院議員（秘書）**：紹介議員になってほしい旨、伝えたところ感触は良く、また（署名）持ってきてくださいということだった。今国会に提出するのが5月ごろになることを伝えて協力を要請して帰った。
- ◎ **共産・宮本徹衆院議員**：議員本人が手厚く話を聞いてくれた。署名の紹介議員になってくれる了解も得た。
- ◎ **共産・高橋千鶴子衆院議員**：高橋議員本人が対応してくれたが時間がなく、5分程度の対応だった。議員の方から「写真を撮りましょう」となった。趣旨説明をして、タクシーの実態もすでに承知されていた。
- ◎ **共産・吉良よし子参院議員（秘書）**：説明の内容をよく聞いてくれた。